

平成 30 年度 HACCP 導入研修会まとめ

特定非営利活動法人奈良県 HACCP 研究会

1. 研修会の概要

- (1) 平成 23 年度より、奈良県食品安全・安心懇話会の後援および奈良県関連部門の横断的な支援を得て開催してきた HACCP 研修会は多くの参加者と賛同を得てきた。
平成 25 年度には、この取り組みを発展させた「奈良県 HACCP 研究会」を立ち上げ、平成 26 年 2 月に県の認証を受けて「特定非営利活動法人 (NPO 法人) 奈良県 HACCP 研究会」として法人格を取得した。
- (2) 平成 27 年度 7 月に、奈良県 HACCP 自主衛生管理認証制度、通称「ならハサップ」が施行され、HACCP の必要性や認証制度の内容などについて、食品関係事業者に、より理解を深めていただくため、「HACCP 導入研修会」を開催した。
- (3) 奈良県 HACCP 自主衛生管理認証制度「ならハサップ」の普及を目指し、当研修会は奈良県とのコラボ事業として、奈良県、奈良県食品安全・安心懇話会の後援、日本防菌防黴学会の協賛を得て開催した。
- (4) 参加対象は、特定非営利活動法人奈良県 HACCP 研究会ホームページ、奈良県のホームページ、奈良県産業振興総合センターからの研修案内、(公社)奈良県食品衛生協会の指導部会委員及びホームページ掲載、各保健所からの呼びかけをいただいた。
- (5) HACCP 導入研修会に引き続き、HACCP プラン作成研修を 8 月 28 日 (火)、9 月 6 日 (木)、9 月 13 日 (木)、平成 29 年 1 月 24 日 (木) の 4 日間で開催する予定である。

2. 当日の概要

- (1)開催日時 平成 28 年 7 月 4 日 (水) 13:00~16:40
- (2)会場 奈良県産業振興総合センター イベントホール
- (3)当日のスケジュール
 - ① 13:00~13:10 開会の挨拶 理事長 坂上 吉一
 - ② 13:10~14:20 奈良県 HACCP 自主衛生管理認証制度 (ならハサップ) について
奈良県消費・生活安全課 参事 中谷 英雄 氏
 - ③ 14:20~14:30 今後の活動予定の説明と事務連絡 事務局長 片岡 之知
14:30~14:40 休憩
 - ④ 14:40~15:50 「HACCP 導入にかかわる準備～異物混入防止からのアプローチ」
アース環境サービス(株) 執行役員
彩都総合研究所 研修センター長 坂井 盛 氏
 - ⑤ 15:50~16:30 「ならハサップ認定企業としての取り組み」
(株)奈良コープ産業
寿司冷凍事業部 部長 藤井 宏治氏
副理事長 岡山 日出男
 - ⑥ 16:30~16:40 閉会の挨拶

※奈良新聞からの取材があり翌日に記事掲載された。

(4)参加者

- | | |
|------------|-----------|
| ① 一般企業 | 36 社 56 名 |
| ② 奈良県行政関係者 | 4 名 |
| ③ 講師、スタッフ | 14 名 |
| 合計 | 74 名 |

3. 参加者アンケートから

- (1)HACCP による安全性の国際水準の確保についてはどのようにお考えですか?
 - ①とても重要だ 22
 - ②重要だ 23
 - ③どちらとも言えない 2
 - ④あまり重要ではない 0
 - ⑤重要でない 0

(2) 本日の話を聞かれて、HACCP 全般への興味や自社での取り組みについて

- | | |
|----------------------|----|
| ①ぜひ取り組みたい（現在取り組んでいる） | 31 |
| ②検討したい | 11 |
| ③興味はある | 4 |
| ④あまり考えていない | 0 |
| ⑤考えていない | 0 |

(3) 本日の話を聞かれて、ならハサップへの自社での取り組みについて

- | | |
|------------|----|
| ①ぜひ取り組みたい | 26 |
| ②検討したい | 12 |
| ③興味はある | 6 |
| ④あまり考えていない | 0 |
| ⑤考えていない | 0 |

(4) HACCP プラン作成研修について

- | | |
|--------------------------|----------|
| ①参加申込みしたい。すぐに認証取得を目指したい。 | 17 |
| ②参加申込みしたい。今後の認証取得を目指したい。 | 8 |
| ③認証取得はわからないが、申し込みたい。 | 1 |
| ④これから検討したいので資料がほしい。 | 13 |
| ⑤今回は見合わせる。 | 2 |
| ⑥その他 | 6（認証済含む） |

(5) その他の意見

- ①当たり前前的事をしていく事のむずかしさ、大変さを改めて感じたように思えます。
- ②すごく参考になりました。会社では意識のうすい社員たちが沢山います。しっかり考えていきたい。
- ③自社の今後の取り組みに参考にさせていただきます。
- ④医薬 GMP に沿った医薬品製造業の許可を所有しており、HACCP 認証との重複する部分が多々あると感じており、二重管理となる事を危惧しています。
- ⑤取り組みたいが、体制の変更、施設や機械のハード面に資金がかかりなかなかスタートできない。ソフト面から始めていきたいと思いました。
- ⑥HACCP に基づいた衛生管理が必要だと本日のセミナーを聞いて感じました。

3. 事務局まとめ

まず、当研究会の理事長である坂上吉一から、開会の挨拶として NPO 奈良県 HACCP 研究会の設立から今までの活動内容について説明を行った。

講師を担って頂いた奈良県消費・生活安全課 参事 中谷 英雄 氏から、「奈良県 HACCP 自主衛生管理認証制度（以下、ならハサップ）について」と題して、我が国の HACCP 導入の検討から今年 6 月 13 日に食品衛生法の一部改正が公布された経緯についてのご説明、ならハサップについては、HACCP 導入型基準への適合が前提となっており、指定研修に該当する特定非営利活動法人 奈良県 HACCP 研究会が実施する「HACCP プラン作成研修」への参加を始め、認証取得までの流れをご紹介いただいた。

アース環境サービス(株) 執行役員 坂井 盛氏から、「HACCP 導入に関わる準備～異物混入防止からのアプローチ～」と題して、食中毒事故の概要と法改正、自主回収につながる異物・食品製造事業所で混入している異物の概要・異物対策としての HACCP（現場参加型の改善活動）について講演いただいた。

続いて、ならハサップ認証取得企業から、(株)奈良コープ産業 寿司冷凍事業部 部長 藤井 宏治氏から、HACCP 認定取得のきっかけから、社団法人日本惣菜協会の JmHACCP とならハサップの認証を取得してからの工場内での取組み状況についての説明をしていただいた。HACCP は取得する事が目的ではなく、従業員ひとりひとりのできる事をたくさん積み上げて、異物混入対策の取組みから、異物のお申し出の減少した事例などの紹介をいただいた。

それぞれの講師からは、ソフト面で工夫できることが多々あることが紹介され、HACCP に取り組むことのメリット等が紹介され、好評のもと終えることができた。

参加者アンケートからも、HACCP の重要性や、自社での取り組みについても前向きな意見が大半を占めたことから、HACCP 手法への理解、興味が進んだものと考えられる。

今年度もより多くの参加企業が認証取得に向けチャレンジしてもらえるよう、HACCP プラン作成研修を開催し、奈良県行政とタイアップして、ならハサップや HACCP 手法の普及を民間の立場で普及・啓発を図るべく取り組む予定である。

以上